

事業所名

ワラハンドクラブ・キキ

支援プログラム

作成日

2026年

1月

10日

法人（事業所）理念										
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの得意な事を活かしながら、発達に応じた支援を行う。 将来の生活をイメージし、基本的日常生活動作や自立生活を支援する。 学校や保護者、関係機関と連携、情報交換をしながら支援を行う。 								
営業時間		8時	30分	から	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握：健康な心と体を育て、健康で安全な生活を作り出すことを支援する。 健康の増進：睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを身に付けられるよう支援する。また、健康な生活の基本となる食を営む力の育成に努める。 リハビリテーションの実施：日常生活や社会生活を営めるようそれぞれの子どもが持つ機能をさらに発達させながら、子どもに適した身体的、精神的、社会的な支援を行う。 基本的な生活スキルの獲得：子どもが食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身の回りの清潔にすること等の生活に必要な基本的技能を獲得できるように子どもの状態に応じて支援する。 構造化により生活環境を整える：生活の中で、さまざまな遊びを通して学びが促進されるよう環境を整える。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上：日常的に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善等の支援を行う。 保有する感覚の活用：保有する視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。 感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 感覚や認知の活用：視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活かして、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。 知覚から行動への認知過程の発達：環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援する。 認知の偏りへの対応：認知の特性を踏まえ、自分にとってくる情報を適切に処理できるよう支援する。 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言語の形成と活用：具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。 受容言語と表出言語の支援：話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う。 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得：個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動への参加：集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。 自己の理解とコントロールのための支援：自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。 アタッチメント（愛着行動）の形成：人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 一人遊びから共同遊びへの支援：周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から見立て遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ共同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ご家族や学校等と情報交換、連携をしながら、相談援助を行う。 個別面談（随時）：こどもの成長や課題について保護者と話し合いサポートする。 家庭での支援方法の提案：ご家庭でも継続してこどもを支援できるようサポートする。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 学校の部活動や児童センターの利用、塾等で放課後の時間が過ごすことができるようサポートする。 学校や関係機関と情報共有しながら、対応方法等の関わり方について共通理解を図り、事業所以外での生活も充実に向け取り組む。 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 地域資源の活用：図書館や体育館、商業施設等を利用し、地域での生活を支援する。 関係機関と必要に応じて連携を図りながら、自立に向けたサポートを行い支援をする。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 継続的な学びの場の提供：内部研修、外部研修を実施する。 職場環境の改善：働きやすい環境の整備やワークライフバランスの推進に努め、職員の軽減を図る。 毎日の申し送り、支援方法や関わり方等を検討しながら研磨していく。 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 各季節に沿ったイベント行事（お花見、プール、ハロウィン、クリスマス会、雪遊びなど） 個別活動・集団活動（運動、工作、制作など） 外出（買い物体験、公園遊び、岩木山総合運動公園、図書館、地域訪問など） 								